

文芸

投稿は投稿者の住所、電話番号を記入し、役場広報係まで。締切は毎月15日(必着)です。漢字にはふりがなを記入し、数種類に投稿する場合は別にしてください。広報投稿作品の、他への重複投稿はご遠慮ください。

短歌

末武 有二選

しらみゆく畑に出づれば木立よりはやも一途に蝉鳴きたつる 安永 守住 孝子
無花果の初生り一個そつと採り 夫と半分その場で口に 古閑 井上てつ子
微笑みてもの言いたげな師の遺影 初盆迎え在りし日偲ぶ 惣領 島田 廣子
水清くクレソン生える川沿いは亡夫と摘んだ遠き思い出 宮園 島 みつき

友漬けし梅干瓶の蓋取れば 紅整然と納まりており 安永 山下たか子
甲子園 高校球児の白球は高々と飛ぶ真夏の空へ 小谷 今吉マキ子
震災後生まれし蝉に奇形あり 哀れに過ぎる弱き生き物 古閑 井上 誠二
猛き陽と日照り続きに百日紅色鮮やかにゆらりゆらりと 安永 福田 圭子

吾が庭に育てたきゆうり浅漬けに食めばかりりとすがし音する 宮園 金子フム子
棟を組むクレーンの音も一休み 地震に備え平屋が並ぶ 赤井 増岡 伸禧
立秋を暦の上で迎えても 焼けつく暑さうすらぎもせず 安永 川野 光子

お願い 投稿は、一人一首でお願いします。

俳句

河野 全平 選

鮮やかに更地の隅に百日紅 小谷 今村 文子
渋滞を抜けて古里青葉闇 古閑 井上てつ子
天上に神架け給ふ天の川 惣領故阪口 基明
夏空や朝日に長し飛行雲 惣領 阪口由美子
ひまわりも猛暑耐えかねうなだれる 小谷 今吉マキ子
不意打ちの雨に乱れし夏祭り 広崎 松原まゆみ
七夕に込めし願ひや天の川 赤井 増岡 伸禧
海の家風にとられて夏帽子 木山 山口サツキ
泥中に百花繚乱大賀ハス 田原 辻ヶ峰子
一句鑑賞

川柳

布田川左門 選

飲み物が又からっぽに冷蔵庫 稲畑 汀子
『お題』 大賀ハス
わたし似の質素可憐なハスの花 ながせ美波
だれもかも笑顔えがおや大賀ハス 平田の老女
花よりも根っこが好きと妻が言ふ 小谷 まさのり

※参考例
山峡に誰が育てしや大賀ハス
『お題』 自由詠
難敵の台風災害手に負えぬ 赤井 すいすい
アスファルトお好み焼きが焦げそうな 八十路の花
猛暑とは地球異変の始まりか 古閑 せいじ

※参考例
球宴百回青春群像甲子園

川柳のお題 「ロボット」または「A」

益城の文化財 町文化財保護委員会 益城町

益城町の巨木

益城町には、巨木といわれる樹々が、寺社の境内や公園等でみられます。これらの樹々は長い年月の間、風雨等の幾多の試練にも耐え忍び崇高で威厳をもつ巨樹となつたもので、いつの日からか人々の心のより所となつて畏敬の念をもたれ、大切に見守られてきたものです。これらの巨木は、町の地域の歴史や文化を知るうえでも貴重な存在です。

巨木とは

環境省が自然環境保全基礎調査の一環として行う巨樹・巨木林調査では、地上130センチの高さでの幹周が300センチ以上の樹木を巨木と呼んでいます。また、地上から130センチの位置において幹が複数に分かれている樹木の場合は、主幹の幹周が200センチ以上で個々の幹周の合計が300センチ以上の樹木も、巨木とされています。また、樹齢